



宿泊行事をととして
より自分を伸ばしていこう！
～得るものは無限大～



9月3日（木）～5日（土）は2年生が福島県のBritish Hillsに移動教室、9月6日（日）～8日（火）は3年生が関西方面に修学旅行に行ってきました。

保護者の皆様には、ご準備やお子さんの体調管理等、ご協力いただきありがとうございました。

さて、宿泊行事を通して得られる学びは「自律と協働」が挙げられます。親元を離れ、仲間と共に数日間を過ごす中で、生徒たちは本当に多くのことを学び、一回りも二回りも大きく成長して帰ってきてほしいという期待を抱くことと思います。

現地での生徒たちの様子を見ていて、最も印象的だったのは、一人ひとりが「自分の役割に責任を持つ」こと、そして「集団の調和を意識する」ことです。係の仕事に主体的に取り組む姿、時間を守るために声を掛け合う姿、そしてお互いの良さを認め合いながら、きつい行程でも励まし合って乗り越える姿に、中学生としての高い頼もしさを感じました。

学校という枠を飛び出し、本物の自然や文化に触れ、仲間と寝食を共にしたこの経験は、生徒たちにとって生涯の財産となるはずです。同時に、学校を離れたからこそ、普段当たり前のように自分を支えてくれている家族のありがたさ、日常の環境への感謝の念を、改めて実感した生徒も多かったようです。

行事はゴールではなく、次なる成長へのスタートです。

学校では、生徒たちがこの宿泊行事で得た「自信」と「絆」を生かすこと。さらには、今回の宿泊行事でうまくできなかった課題などを振り返りながら今後の学校生活や行事、それぞれの進路実現に向けての大きな原動力へとつなげていけるよう、教職員一同、今後とも全力で指導にあたってまいります。

